

同期会便り
平成・令和 秀麗富岳多景

9 期 吉田洋次郎

9 期千葉組と称する隣組の我々（伊藤俊成、伊藤博道、清水一、鍋島武、吉田洋次郎）は富士山の遙か東方の千葉県北西部に住んでいる。この 5 人と東京・八王子の山中重夫は気軽に飲み会やゴルフをいつもやっていた。2012 年の忘年会で、「たまには山に行こう」という話題がでて、山行もやりはじめた。

9 期千葉組の仲間は今まで誰も富士山の頂上に足跡を残していなかった。ただ、山中が百名山制覇をしているので当然富士山には登っている。

さて、鍋島の富士登山を記念して今まで千葉組が登ってきた近隣の山などから撮影した富士山を写真集に纏めた。

【筑波山

平成 25 年（2013）3 月 22 日】

前年の忘年会で出た話題「たまには山に行こう」をさっそく実行へ。『西の富士 東の筑波』と称される筑波山登山であり、このメンバーによるパーティ結成は KUWV を卒業してから初めてだった。



筑波山神社にて安全祈願

筑波山から美しい富士山を遠望することができるのだが、今回の山行では、残念ながら富士山は姿を現さなかった。

【富士宮口五合目・宝永火口にて

平成 26 年（2014）9 月 4 日】

吉田が富士宮口五合目から宝永火口までをトレッキングした。



宝永火口

宝永火口は大きなすり鉢状で、その縁から山頂を望んだが、剣ヶ峰は見えなかった。

下山後、御殿場にある御胎内温泉に立ち寄って風呂に浸かり、冷えたビールで疲れをいやした。

【高畑山、倉岳山（大月）にて

平成 26 年（2014）11 月 13 日】

千葉組の 4 人（伊藤俊、伊藤博、鍋島と吉田）と山中が鍋島リーダーの計画に乗っかり、山梨県大月の秀麗富岳の高畑山と倉岳山の山行に参加した。



高畑山にて富士山を背に

山行にはもってこいの天気で新雪をまとった富士山が美しい。高齢者だが 70 歳前後でまだまだ若い。コースタイム通りで歩くことできた。



高畑山からの富士山

【岩殿山（大月）にて

平成 29 年（2017）4 月 24 日】



今回も千葉組の 4 人（伊藤俊、伊藤博、鍋島と吉田）と山中で JR 中央線の大月駅にほど近い岩殿山に登った。

“稚児落とし”と名付けられている難所も通過し、無事下山した。しっかり汗をかい



たので大月駅近くの居酒屋で電車の時間を気にしつつ飲んだ“昼酒”の旨いこと、旨いこと。

【高松山（丹沢）にて

令和元年（2019）11 月 16 日】

今回は千葉組 3 人（伊藤俊、鍋島と吉田）と山中で丹沢の高松山に挑戦した。晴れ男四人組は今回も最高の天気恵まれた。



写真撮影をお願いしたお姐さんが気を利かせて足が長く写るように撮ってくれたようだ。すすきの穂が風に揺れ、秋の訪れを告げていた。



下山後、小田急新松田駅近くの居酒屋で恒例の飲み会をして帰路についた。

【熊倉山 生藤山（奥多摩）にて

令和 2 年（2020）2 月 17 日】



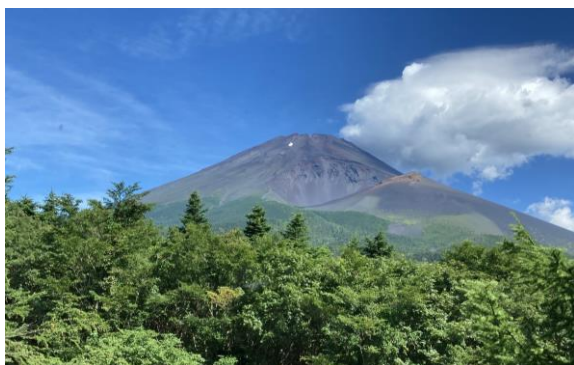
生藤山にて

千葉組の3人（伊藤（俊）、鍋島、吉田）で、中央沿線から、熊倉山～生藤山を歩いた。厚い雲に覆われた一日であったが、最後の生藤山を下ろうと腰を上げた途端に、なんと富士が顔を出した。3人はテンションを上げて、軽快に下った。

下山後の飲み会は、おおいに飲もうとの考えが全員一致した。そこで這ってでも帰れる（？）自宅に近い西船橋で挙行了した。

【鍋島が初めての富士登山

令和4年（2022）7月25・26日】



（写真上）

初日：登山日和の富士山



（写真左）

二日目：雨の剣ヶ峯

令和4年（2022）7月25日に喜寿の鍋島が「はじめての富士山」に挑戦した。

初日：山の神（富士山）は、単独行で高齢かつ新参者の鍋島を、心優しく富士宮コース元祖7合目まで案内してくれました。

二日目：朝3時、少雨だが、「登れる」と判断して、ヘッドランプをつけて出発。頂上が近くなるとつれて雨脚は強くなり、日本一高い剣ヶ峯頂上では、日本一最悪の強雨とガスで展望ゼロ。

浅間神社奥宮で、記帳（70歳以上）とさい銭で、安全と健康を心からお祈りした。安全を考えて、登りと同じコースを下山。

しかし初日には優しかった山の神はどこに行ったのかな。下りの天候はさらに悪化。頭上からではなく水平方向から「ドカーン」と雷も加わった。八合目の小屋では、女性や子供は中に招き入

れてくれるが、男たちは小屋の軒先の壁にへばりついている。

雨と雷に激励（＝脅迫）されて駆け降りた。五合目のバス停について、一安心…とはならなかった。雨で道路通行止めのため、バス運休。う回路経由で、無事帰宅。

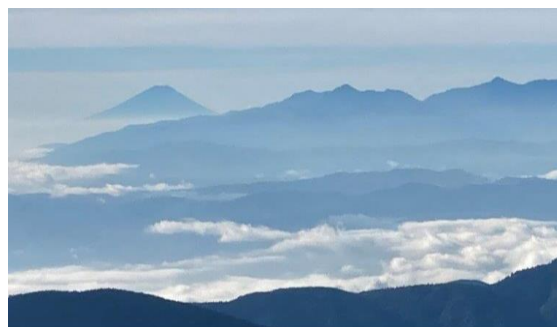
『鍋島は雨男』とは言わないでください。この山行の一週間後の北アルプス・常念山脈の3泊4日は雨具いらずだったよ。）

【常念岳山脈縦走

令和4年（2022）7月31日～8月3日】

中房温泉（泊）～燕岳（泊）～大天井岳～常念岳（泊）～一ノ沢を、鍋島が山仲間と二人で縦走。

一週間前には土砂降りの雨の富士山も晴れ渡り、すばらしい姿を見せている。富士をはじめ、北アルプス、南アルプス、八ヶ岳の絶景を眺めながらの縦走は幸福感満杯の快適な山行だった。



（写真上）

富士山と南アルプス（8月3日常念岳にて）

（写真左）

槍ヶ岳（8月2日大天井岳にて）



卒業後50数年が経ってもこうして気の合った仲間たちと共通の時間を過ごせることが人生の財産となっています。

最後に、本稿は鍋島の協力で纏めることができました。

ご覧になっていただきありがとうございます。

以上